

10 月 31 日：VN 指数は続落 (VN-Index -1.36%)

- 取引開始前、中国の 10 月 PMI が悪化したとの報道があったものの、VN 指数は寄り付きプラスで開始した。
- その後すぐに指数は下落したが、前場の引けにかけては徐々に回復。しかし、午場には再び下落基調となり、引けにかけて下げ幅を拡大させていった。
- 銀行、旅行・レジャーを除くすべてのセクターが下落。
- 売り方による一方的な展開が続き、指数は一時前日比 2%超の下落幅をみせたが、取引終了間近には売買代金を伴った大きな買い注文が入り最終的な下げ幅は縮小された。
- 66 銘柄が上昇、448 銘柄が下落、52 銘柄は変わらずと売りが優勢だった。
- 外国投資家による取引量の増加で流動性は 47.2%上昇し、売買代金は 14.9 兆ドンに拡大した。

VN30 指数も軟調に推移 (VN30 -0.79%)

- 大型株で構成される VN30 指数は 10 銘柄が上昇、16 銘柄が下落、4 銘柄と跛行色となった。
- 下落率の大きかった銘柄として MWG (-6.91%)、SAB (-6.74%)、SSI (-6.36%)、GVR (-6.11%) が挙げられる。
- 一方、SSB (+1.78%) や VIB (+1.70%) といった銀行銘柄を中心とした堅調な推移も確認された。

セクター・個別株の動き

- MWG (-6.91%) はストップ安で終了。第 3 四半期決算が発表され、売上高 30 兆 2880 億ドン（前年同期比-5.4%）、純利益 390 億ドン（同-95.7%）との結果が多く投資家たちに嫌気された。

- SSB (+1.78%) は今年 1～9 月の累計での純利息収入が前年同期比 48%増の 16 兆 4390 億ドン、税引前の純利益が同 54%増の 6 兆 8400 億ドンとなり、好調な決算内容が好感され買いが集まった。
- 外国人投資家は 3070 億ドンの買い越しとなり、6 営業日ぶりの買い越しとなった。特に HPG が多く買われた一方で、VHM は引き続き大きく売られた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。